

作者： Administrator

2014年 12月 10日(水曜日) 17:23 -

北光会秋田支部「わらび座観劇会」を実施

平成26年11月22日(土)に「わらび座観劇会」を行いました。観劇会には、秋田支部の会員とその家族や知人、20名が参加し、ミュージカル「げんない」を鑑賞しました。

当日はわらび座から送迎バスを提供してもらい、集合場所の秋田大学正門を午前10時に出発、秋田駅からの参加者も乗せて、わらび座のホテル「温泉ゆほぼ」に向いました。

11時30分、ホテルに到着。象潟と横手から自家用車での参加者と合流し、全員揃ったところでホテル2階の宴会場で休憩し、昼食時間まで談話や温泉に入って過ごしました。

昼食には田沢湖ビールで乾杯し、観劇の時間まで料理を味わい、懇談を続けました。

13時20分、ホテルからわらび劇場に移動しました。劇場はすでに満席で舞台が始まると、次々と展開するストーリーと歌、踊りに魅了され、楽しい2時間でした。当日は佐竹秋田県知事が、秋田藩の蘭画家・小田野直武の絵のモデル役として特別出演。舞台での軽妙なせりふのやりとりで観客を沸かせました。

舞台が終了し、劇場のロビーで出演した俳優の苗さんと佐竹知事、山川社長さんにも入ってもらい記念撮影をした後、16時にわらび劇場を出発して秋田へ戻りました。

17時30分、大学正門に到着。来年も観劇会に参加することを約束して解散しました。



(前列・中央が佐竹秋田県知事、後列・左から二人目が山川わらび座社長)

◎ わらび座観劇会の動機

観劇会を開催したのは、5月24日(土)に開催した秋田支部総会での特別講演を、わらび座社長の山川龍巳氏にして頂き、わらび座の紹介と活動、わらび劇場で公演中の江戸時代の発明家・平賀源内を題材としたミュージカル「げんない」の製作スタッフ紹介、舞台エピソードなどについて興味深く講演して頂きました。

懇親会の席で秋田支部主催によるわらび劇場での観劇会の提案があり、今回の「わらび座観劇会」が実施されました。

◎ わらび座とは

わらび座は秋田県仙北市田沢湖町を本拠地として60年にわたって演劇活動を展開し、現在は劇団員約200名を擁して劇場経営の他に、温泉、ホテル事業、地ビールの製造・販売など、多角的な経営をしています。

「たざわこ芸術村」として田沢湖町の一郭に、わらび劇場・小劇場、温泉ゆほぼ・ホテル、レストラン・ビール製造所、森林工芸館、俳優養成所などがあります。

「わらび劇場」では年間約250ステージのオリジナルミュージカル公演を行っています。また、愛媛県東温市には常設の「坊ちゃん劇場」を直営しています。その他7つの公演チームが国内、海外の各地で年間約1,200回の公演を行なっています。